

校務DX計画

文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、本町において、次に掲げる事項を重点的に推進します。

1. 校務のデジタル化

令和7年4月より教務・保険・学籍・成績など統合して管理することができるクラウド型の校務支援システムを導入します。福井県内で広く採用されている校務支援システムであり、小学校と中学校の進級・転入・転出の際は市町を跨いでクラウド上でデータ移行が可能となります。

また、校務に使用する基本ソフトウェアのアカウントを全ての教職員に付与し、クラウドサービスを活用した校務や授業ができる体制を整えます。

翌年度以降には校務支援システムに連携して、児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡や保護者への連絡等が行えるシステムの導入も検討します。

2. FAX・押印の廃止

町教育委員会と学校間でFAXや押印を求める書類は既に原則廃止となっています。全ての教職員に校務用の個人メールアドレスが付与されており、基本的に町教育委員会と学校との連絡や資料の送付は電子上で行っています。

例外として、町予算から学校経費を執行する伝票処理には押印を必要としているため、町と学校間で電子決裁ができる財務システムを導入します。

3. 教育情報セキュリティポリシーの策定

令和3年度に策定された現在のセキュリティポリシーは校務へのクラウド活用を前提としていません。クラウド活用を前提に、それに適したセキュリティレベルを確保しながら、データ利活用や個別最適な学びなど、新たな時代にふさわしい教育DXの基盤を構築するため、教育現場の現状を踏まえ、「教育情報セキュリティポリシー」を策定します。